

健康経営は、1つひとつを体系立てて バランスよく実行すること

栃木トヨタ自動車(株)、
2年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定

新型コロナウイルス感染症が流行するなか、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することがさらに重要になっていきます。企業理念に基づき、従業員などへの健康管理を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらすことが期待されます。

今回は、経済産業省と日本健康会議の制定した、上位500社のみ認定される「健康経営優良法人(ホワイト500)」に、2年連続で認定された当所常議員・交通運輸部会長の栃木トヨタ自動車(株)新井孝則社長に、同社の取り組みについて話を伺いました。

方針を定めて 着実に推進

栃木トヨタ自動車(株)では、以前から従業員の健康増進など福利厚生に取り組んでいました。その会社が、改めて2018年度より「健康経営」を掲げ、より進んだ制度導入に踏み切ったのは、同社の新井孝則社長の決断がありました。

「健康経営という言葉については、以前から知っていました。その後、当社に役員として入社し、健康は単なる福利厚生ではなく、経営の重要な要素なのだ実感しました。東京商工会議所が2016年から健康経営アドバイザー認定事業をスタートさせたので、テキストを取り寄せて読んでこ

ろ、重要性をあらためて実感し、当社でもぜひ取り組みなくては、と強く思いました」
中小企業診断士の資格を持つ新井社長はさっそくアドバイザー認定を取得しました。そして総務部を中心に健康経営に向けた準備をスタートし、2018年度から健康経営を実施しました。

「健康経営を推進するため、私どもでは『栃木トヨタ健康宣言』を策定し、それを基に推進の目的や効果、目指すべき姿などを定めました。さらに『健康経営方針』で、取り組むための道筋をしっかりと作り、実行していきました」

大切なのは体系立てて 取り組むこと

同社公式サイトには、健康経営に関する情報も掲載されています。それらの情報の中から「栃木トヨタ健康宣言」「栃木トヨタ健康経営」推進について」を掲載します。



栃木トヨタ自動車(株)
新井孝則 代表取締役社長
(当所常議員・交通運輸部会長)

〈栃木トヨタ健康宣言〉

社訓にあるように、大きな仕事にチャレンジするための前提条件は頑健な心身。現役中は勿論、リタイア後も健康で充実した生活が送れるように、栃木トヨタは全社をあげて健康増進に取り組みます。

〈「栃木トヨタ健康経営」推進について(一部)〉

【目的】
会社が社員の心と身体の健康維持・増進に積極的に関わり、健康で長く働ける職場環境を目指す企業活動

【効果】

- ・ 欠勤や体調不良の減少によるパフォーマンスの向上
- ・ 社員の安心感高揚・ロイヤリティの向上 など

- 【目指すべき姿】
- ・ 社員が健康で長く働ける職場
- ・ 第二の人生においても健康で活発な経済・社会活動に参加 など



写真1 入れないようになっている喫煙室

「実際の取り組みで大切なのは、きちんとしたスキームを作り、体系立てて取り組むことです。実際にやってみると分かりますが、従業員の健康のために実行するべきポイントはたくさんあります。それら1つひとつも大切なのですが、肝心なのはバランスをとって、総合的に実施していくことです」

健康への意識づくりは 少しずつ

具体的には、どのような取り組みをしてきたのでしょうか。

「特に大きな取り組みをしたわけではありませんが、生活習慣を変えてもらうのですから、大ナタを振るうのではなく、一歩ずつ着実に、少しずつ健康意識を浸透させていったのです」

例えば、禁煙。同社の本社社屋には、以前は喫煙室がありましたが、現在は廃止されています。

「喫煙者にとっていきなり『全面禁煙』は難しいと思います。そこで、1日の本数を4本まで」とする『ガマンの4本』からスタートしようという決め、そこから段階的に減煙を実施し、現在は完全禁煙を達成しました。喫煙室は立ち入れないようにしています(写真1)」

また、社内の自動販売機も、体に良い飲み物に変更していきました。

「エレベーターではなく階段を使うことを励行しました。それだけではモチベーションが上がりにくいので、『こまめで○カロリー消費』といった掲示をつけました(写真2)。

これも評判が良かったですね」
主な取り組みとその効果について、コラムにまとめました(「コラム 主な取り組みと効果」)。これを読むと、企業活動全般にわたって健康増進に力をいれていることがわかります。読者の皆さんの会社でも、明日からさっそく取り組めることがあるのでは? ぜひチャレンジしてください。

写真2 階段には消費カロリーの表示



うことは企業防衛になると同時に、お客さまサービスにもつながります。さらに、健康経営の重要性について、改めて認識する機会になりました。新井社長はこう語ります。
「従業員の皆さんには、働いている間だけでなく、家庭に帰った時も、また歳をとって退職した後にも、充実した人生を送っていただきたいと願っています。それも健康経営の重要な役割ではないでしょうか」



写真3
健康経営優良法人
(ホワイト500)認定証



栃木トヨタ自動車
公式サイト



写真4
ホワイト500のマーク



本社社屋

コラム 主な取り組みと効果

定期健康診断の実施率向上とその後のフォロー

- ◎ 定期健康診断 100%の実施
- ◎ 再検査者(要精密検査)への受診勧奨
再検査受診率 76.7% (2019年度)

特定健康診断と特定保健指導の向上

- ◎ メタボ対策・生活習慣病の予防
- ◎ 35歳からの人間ドック
- ◎ 病院・保険者と連携で保健指導
- ◎ 女性社員向けがん検診(乳がん・子宮がん)の費用補助

メンタルヘルス対策の充実

- ◎ ストレスチェックおよび面談
ストレスチェック実施率 97.7% (2018年度)
→ 98.5% (2019年度)
- ◎ 相談窓口の設置

「スポーツエールカンパニー」に認定

スポーツ庁より令和元年度の「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

健康、体カづくりイベントの実施

- ◎ ふれあいスポーツ大会
- ◎ ハイキング&登山道の清掃活動
- ◎ 地域貢献の清掃活動と兼ね、30分間ウォーキング

受動喫煙防止への取り組み

- ◎ 禁煙プログラム「所定労働時間内は喫煙を禁止」
- ◎ 禁煙治療へのサポートとして、禁煙外来の禁煙パッチ奨励と費用補助
- ◎ 「とちぎ禁煙推進店」へ登録
- ◎ 本社喫煙室の廃止

その他

- ◎ インフルエンザ予防接種費用の補助
(同社HPより一部転載)